

第49回 福井市子ども会写生大会表彰式



第49回福井市子ども会写生大会表彰式が、アオッサ601で行われました。幼児の部・小学1年生～6年生の部で、福井市長賞・福井市教育委員会賞・市子連会長賞 金賞 銀賞・日刊県民福井賞 金賞銀賞・中日新聞社賞 金賞 銀賞と、中学生の部で、市子連会長賞 金賞 銀賞を受賞されたお子さんが表彰されました。

また、今年は、市民憲章制定60周年を記念して、市民憲章特別賞が設定され、幼児～6年生までの7人が表彰されました。北陸新幹線や福井駅の恐竜など、今年らしい作品も多く見られました。どの作品も、色使いや形・描き方に工夫をこらし、楽しかった夏の思い出が伝わってきました。

第56回 福井市子ども大会



11月10日(日)第56回 福井市子ども大会が、福井市西体育館で開催されました。

子ども90名、大人50名が参加しました。「子どもの手による子ども会活動」を目的に、司会進行は、交流事業に参加した団員たちとジュニア・シニアリーダーズの皆さんが務めました。

午前中は、ジュニア・シニアリーダーズによるレクリエーション等で盛り上がり午後からは、マジック体験とマジックショーで盛り上がりました。

奇術師「松旭斎天一」は福井市順化地区出身なのですが、実は福井市子連にも、「ヘンリー」と「はじめちゃん」の2人のマジシャンがいるんですよ。



マジック体験

マジック体験では、4つのマジックを教わり、プロのマジックショーを鑑賞して、楽しい秋晴れの1日を過ごしました。



保護者向けイベント

保護者向け講演会

2月8日(土)小倉先生をお招きしての「子どもとのかわり方～子育てに失敗はない～」講演会を無事に終えることが出来ました。当日は寒く、お足元が悪い中、遠くは奈良からの参加されたりと、たくさんの方々にお越し頂き本当にありがとうございました。

- アンケートでは、
- ・反抗期の子育てに気合過ぎず向き合っていたい。
 - ・あっという間の時間でした。
 - ・学生時代にこんな先生に出会いたかった。
 - ・勇気を頂いた。
 - ・子育ては「探究活動だ」を胸に子育て頑張りたい。
 - ・事例を交えた話が聞けて良かった。
 - ・もっと話が聞きたかった。(時間が短かった)

などのご意見を頂きました



市長と語る会



11月22日(金)に「市長と語る会」が開催されました。西行市長に幅広く福井市子ども会育成連合会のことを知って頂きたく企画しました。はじめに、連合会の各支部の説明をして東安居地区と鷹栖地区の活動報告をしました。

市長からも、福井市の活動方針「子どもまんなか社会」の実現に向けての考え方の想いを頂きました。今後は、福井市と連合会が更に寄り添い子ども達の社会教育の一環として、福井市子ども会育成連合会と協力し活動が出来ればとのコメントも頂きました。



活動紹介

「市長と語る会」で発表された2地区の内容が非常に素晴らしいものだったので上記のQRコードから入って是非、保護者の方・単位子ども会の役員の方・各地区育成会の方にご覧いただいて、今後の活動の指標・参考にいただければと思います。

発行 福井市子ども会育成連合会

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号 福井市教育委員会青少年課内
TEL 0776-20-5418 FAX 0776-20-5434 MAIL syounen@city.fukui.lg.jp

キラリン だより 107号



「笑顔 ふれあい はじけあい！ やっぱりリアルが一番！」

目次

- ☆ 福井市少年相撲大会（共催）
- ☆ 福井市・結城市友好都市子ども親善大使交流事業（派遣）（受入）
- ☆ 福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業（派遣）（受入）
- ☆ 第49回 福井市子ども会写生大会表彰式
- ☆ 第56回 福井市子ども大会
- ☆ 保護者向けイベント・市長と語る会

福井市少年相撲大会(共催) 第49回 福井市少年相撲大会 第39回 わんぱく相撲福井大会



6月22日福井県立武道館相撲場にて開催されました。

粘り強く何回も「のこった、のこった」の声が聞こえる熱戦、自分より身体が大きな子を相手に「足取り」の技で挑む戦い。応援の声にも自然と熱がこもる、いい勝負が多かったです。勝って喜ぶ子も、負けて悔し涙を流す子も、みんな素敵でした。福井市子ども相撲大会の入賞者は、その後の県大会で、大野の入賞者と戦い、全国大会に出場する県代表を決めました。



夏休みは交流事業!

福井市・結城市友好都市子ども親善大使交流事業

派遣

平成14年に結城市と姉妹都市の調印式を行い、翌年より子どもたちの交流が行われることになりました。今年で20回目です。市内の小学6年生8名が、7月26日～28日に結城市へ訪問し、結城市の小学6年生8名と交流を行いました。



受入

8/23日～25日にかけて福井市結城市姉妹都市子ども大使交流が行われました。

1日目:福井駅で結城団を出迎え、歓迎式、福井市郷土歴史博物館で武士や町娘に変身、夜には花火を観賞しました。
2日目:東尋坊を遊覧船で観賞し恐竜博物館に移動。発掘体験を楽しみ、夜には思いでの缶バッチの作製と体験発表会の原稿を作製

3日目:県立博物館で天下人の子(結城秀康)の特別展を学芸員による案内。ハピリンに移動、体験発表会、お別れ会、昼食を取り結城団をお見送りしました。楽しい交流ができました。



福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業

派遣

第30回福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業熊本に向けて、つるぎ1号で、ただいま出発いたしました。

今年で、熊本市との姉妹都市提携30周年。コロナ禍の時もオンライン交流でつなげてきました。

今回、子どもたちの交流も30回目となります。

8月2日から4日の2泊3日熊本の良を感じることができました。



受入

第30回目となる福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業が1/11～13(土日祝)に開催されました。

11日午後、寒波も落ち着き1番いい時に熊本団到着。4ヶ月ぶりの再開を喜び歓迎式典や夕食などで話が弾み一日目は終了。

翌12日7時にスキージャムに向けて出発。熊本のメンバーの最大の楽しみの時間が始まりました。



熊本の子もたちは12名全員が初体験。福井の子もたちは約半分の子が初めてでした。スキージャムの指導員の方に基礎から丁寧に繰り返し教えていただきました。始めは「こわ〜い」「止まらないー」と言っていた子も「できた??」「すべれたー」と言う言葉も出てくるようになり、がんばったという満足げな笑顔が印象的でした。その後、福井県立恐竜博物館を見学。数多くの恐竜を見ながら、驚きと興奮の表情。新館の3方向からのスクリーン映像は圧巻でした。

最終日は体験発表会・お別れのつどいを開催しました。

熊本団12名、福井団12名のひとりひとりが、この交流事業についての感想や想いを発表しました。

そして福井駅へ移動、くるふ内を賑やかに散策しながら楽しめました。いよいよ新幹線ホームへ。また会おうねーと約束しながら、熊本団は帰路へつきました。